



アンコールクライマーズネット (ACN) ニュースレター

by Angkor Climbers net

アウトドア総合ブランド (株) モンベル、アウトドアギヤ輸入販売 (株) ロストアローより賛同・支援をいただいています。

<http://www.angkorclimbers.net/>

2015/10/31 第17号

カンボジアユースクライマー研修2015@日本 (助成)真如苑



8月30日から10月6日まで、カンボジアからの研修生を迎えました。インストラクターのキムスロイと高校3年のチェニイです。出発の二週間前に本法人代表理事の伊藤忠男が、かねてから患っていた肺がんの病状が悪化して他界するということになりましたが、支援してくださるみなさんのお力で、二人の研修は実り多いものになりました。

二年前に続いて日本山岳協会から招へいをいただき、今回は真如苑の助成も受けることができ、また長野県内の多くの施設が研修にご協力くださいました。上の写真は、大町市の長野県山岳総合センターの人工岩場で、カンボジアの人工壁では練習することができない、マルチピッチ(連続した登攀)の練習をしているところです。カンボジアにも自然の岩場はたくさんありますが、地雷の危険があるところもありますし、人里に近い岩や高い山は、お寺のものになっていて勝手に登るわけにはいきません。今までそうした自然の岩場を開拓してきたアメリカ人のコミュニティ開発ワーカーなどは、地域との関係を注意深く築いてから、クライミングにとりかかっていました。ACN カンボジアのスタッフも、自分たちが登るときには、お寺や住民との連絡にはいつも気をつけています。

今回の研修では、研修生二人それぞれのクライミングや施設管理の技術を磨くことももちろんですが、いつか自然の岩場に子供たちや観光客を安全に案内していけるようにという願いをこめて、安全指導の技術研修にも力を入れました。

右の写真は、左からキムスロイ、チェニイ、指導者で当法人の新代表理事浅井和英、長野県北相木村立岩でのトレーニング後のひとこまです。



9月1日～10日 キムスロイは、飯能市の㈱ピラミッドジャパン本社にて、矢野社長より人工壁建設と修理について学びました



たとえば建物の弱い壁にそってボルダリング壁を取り付けるにはどうするか、など

時には壁の裏側も見学
させていただきました。
世田谷区立烏山中にて



同市内の大野文雄さん宅にあるアルパイン入門道場で、大野さん自作の古タイヤを利用したビレイ練習器などを見せていただきました。東吾野駅近くの練習場「平戸の岩場」(写真左)も見学しました。

9月6日 ACN 定期総会と「カンボジアについてもっと知ろう」「カンボジア料理を作って食べよう」 調布市文化会館「たづくり」にて定期総会では、定款にもとづいて来年8月までの役員の任期中は次の役割分担に変更することを理事会から報告した後、特定非営利活動法人(NPO 法人)としての第一期活動報告と決算、第二期活動計画と予算案の承認などを行いました。

続いて「カンボジアについてもっと知ろう」では、写真と動画でシェムリアプの人工壁を紹介した後、キムスロイとチェニイが「家族について話してください」等の参加者の質問に英語で答えました。

●理事及び監事

NO.	氏名	役	職	在
1	浅井和英	代表理事		長野
2	安田至宏	副代表理事	総務	甲府
3	伊藤明子	副代表理事	事務局	東京
4	堀田圭子	理事	会計	東京
5	高木智子	理事	総務	カンボジア
6	有泉重正	理事	総務	東京
7	棚澤健治	理事		横浜
8	才原明男	理事		埼玉
9	鴨志田智也	監事		東京
10	吉富明	監事		福島

カンボジア料理を作って食べよう



パパイヤサラダ



とうがんスープ



場所を同会館内の調理室・談話室に移動して、0歳から80代までの22人が一緒に楽しみました。

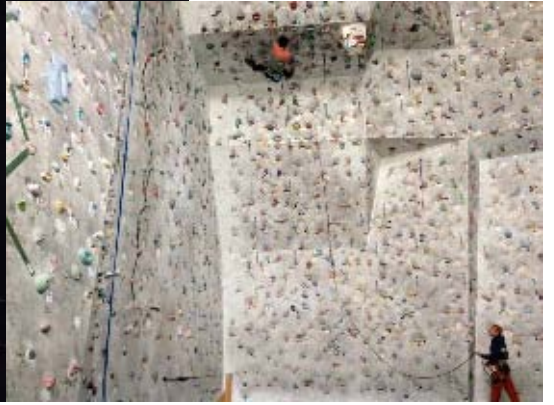
長野、神奈川、埼玉、東京の12箇所のクライミングジム、施設で練習させていただきました



長野アートウォール



茅野消防署

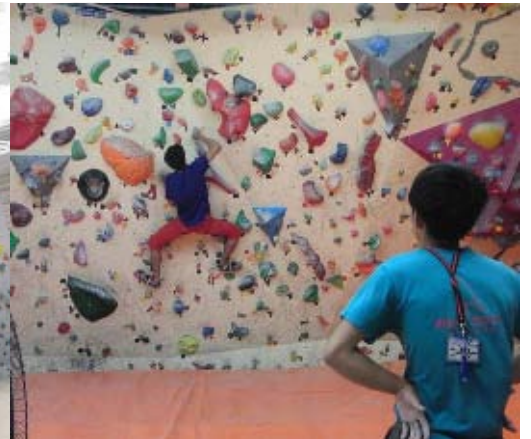


佐久平ロッククライミングセンター



ビッグロック(日吉)

ハングアウト(柴崎)



ウエストロック(西調布)

9月20日 小川山で子供クライミング教室を行いました



主に、長野県、山梨県のこどもたちと

いつか、カンボジアの子供たちも外の岩で安全なクライミングができるように、チェニイも子供たちの面倒をよくみました。

9月27日 日本山岳会多摩サロンの呼びかけで会員の皆さんとチェニイは高尾山へハイキングに行きました





登りは沢沿いの6号路で自然に触れ、下りは1号路と 599 ミュージアムで日本の登山文化を知り、貴重な経験になりました。



9月29日 埼玉県東部地区高校新人クライミング大会リード部門を体験させていただきました

加須市民体育館で、参加各校の先生方、生徒さん方に応援していただき、チェニイは決勝四位相当まで登ることができました。アイソレーションルームでの緊張の時間も初体験。今までカンボジアでは、「見ないで！」といわれて後ろ向きの椅子で待っているだけでしたから。



10月3日・4日お台場で「グローバルフェスタ2015」に出展



チェニイは設営時にも活躍

アンコール・クライマーズ・ネットは、「人権平和ゾーン」に出展し、「ピラミッドジャパン」様のご好意により無料で借り受けた「シムリアブ人工壁の縮小版」を使って、無料体験クライミングを実施しました。2日間で大人97人、子供172人が参加しました。



今年は晴天に恵まれ、テントの位置も良く、多くの皆様に楽しんでいただきました。ご来場ありがとうございました。

7月5日 今年もロータスカップ（雨季のコンペ）実施



クライミング技術の本に興味をもった子供たち。この本は日本語だったので、翌日、英語版を探しました。

昨年から、雨季のコンペに「ロータスカップ」と名前をつけました。この時期、蓮の花がきれいです。簡単な屋根しかないアンコールウォールでは、5月から9月の雨季に練習意欲がどうしても落ち込んでしまうので、そんな時期に行う内輪のコンペです。



トップロープの部



リードの部

完成した10種類ずつの課題

ボルダリングの部



今年は、専門家ボランティアの若江勇一さんがボルダリング壁の改造、課題設定からずっと ACN カンボジアのスタッフに付き添って教え、男女各 10 種類の課題が設定されました。トップロープ部門に今年から練習に来はじめて、クビアン中学校の女子が7人、初参加したのも良いニュースでした。

もともと、内輪のコンペだから賞品はなしということでしたが、昨年度までにたくさん寄贈していただいていたので、順位が上の生徒から順に、選んだ賞品を参加者全員が手にすることができました。そのときの下の写真が、前代表伊藤忠男が皆と撮った最後の写真になりました。各種目の1位がまず賞品を選びました



・今年も第5回アンコールカップとワークショップが始動

カンボジアのお盆プチュムバンが終わり、雨季も終わり、今年もワークショップとアンコールカップの時期がやってきました。皆様も応援をどうぞよろしくお願いいたします。今年度の日程は、次のとおりです。

- 11 月 1 日(日)より、州内小中高校の児童生徒対象ワークショップ開催
- 12 月 13 日(日)アンコールカップ リード、トップロープの部
- 12 月 19 日(土) **Bouldering Babes Climbing Girls Run the World Tour** に参加。女子対象のクリニック予定
<http://boulderingbabes.com/climbing-girls-run-the-world-tour/>
- 12 月 20 日(日) アンコールカップ ボルダリングの部

この期間に、日本在住の理事、専門家ボランティア計4名がすでに現地に渡航の予定を立てています。ラオスやプノンペンからの専門家ボランティアもシェムリアップにかけつけてくれる予定です。調布のボルダリングジムからも助っ人が渡航予定、19日のボルダリングクリニックは、当会のウェブサイトを見て、ニューヨークから声がかかりました。女性のエンパワーメントをめざすクリニックとのことです。どんな指導を受けられるのか、楽しみです。

・NPO法人としての会員は現在36名、会員として継続的な支援をお願いします

ACNへ入会をご希望の方は、随時下記宛て、郵送、メール、電話、Faxのいずれかでお知らせください。一般個人会員の年会費は¥5,000です。事業年度(7/1～翌年 6/30 まで)に対応して納入をお願いしています。みなさまの支えがカンボジアの青少年の、健全な成長を継続する確実な助けになります。

■アンコールクライマーズネット (日本事務局)

〒182-0025 東京都調布市多摩川 5-3-1-506

tel. & fax +81-(0) 42-498-2488 Email: info@angkorclimbers.net

・寄付・寄贈、

一 寄付金、寄贈品等

2015/10/25 現在までの、寄付金累積総額は、¥ 8,031,633+ US\$13,660 となりました。また、里親基金累計総額は、¥3,220,000 +US\$1,250 です。ご寄付をいただいた方 83 名様、クライミング装備その他をご寄贈いただいた方 36 名様(この期間特に記録もれの可能性があり、お気づきの点を事務局までご連絡ください)、及び里親となっていたいただいた方は4名様となっています。大変ありがとうございました。

2015 年 4 月～2015 年 10 月までに、ご寄付、ご寄贈、里親出資いただいた方は下記の通りです。なお本お知らせは、email 版ニュースレターと連携して対応する期間に寄付された方のお名前だけを本誌にて、順次お知らせしています。

一助成金 真如苑様

一寄付

石塚竜夫様、虎本節子様、若江勇一・いづみ様、林武子様、門多元様、米倉優介様、浅田信一郎様、栗原孝様、才原明男様、堀田圭子様、藤原豊様、白戸ひろ子様、株式会社大和様、同佐藤様、村松様、蟻浪様はじめ社員の皆様、野草茶かりんの皆様、清水不二様、伊藤文博様、高木勝二様、榎田猛彦様、森山謙雄様、澤田治子様、佐久平ロッククライミングセンターの皆様

一寄贈 ※寄贈及び奉仕活動をもってご支援いただいた方も含みます。また、研修時に様々な便宜をはかってくださった方々も含みます。

日本山岳協会様、日本山岳会多摩サロン様、(株)モンベル様、(株)ロストアロー様、日本勤労者山岳連盟様、(株)ピラミッドジャパン様 クライミングジムビッグロック(日吉)様、佐久平ロッククライミングセンター様、長野県山岳総合センター(大町)様、長野アートウォール様、茅野クライミングクラブ様、茅野消防署様、アチーブ伊那様、大野文雄様、ロックジムホリエ(塩尻)様、ハングアウト(柴崎)様、ランナウト(西国分寺)様、ウエストロック(西調布)様、埼玉県高体連山岳部顧問の先生方、蓑田幸太郎様、矢野光之様、森下健七郎様、高木智子様、有泉重正様、清水不二様、平川真司様、伊藤洋美様、安田至宏・牧美様、鴨志田智也様、竹内厚子様、福神和子様、木村まり子・良様、塚内尚子様、吉富明様、中江恵美子様、才原明男様、榊澤健治様、(順不同)

一里親 堀田圭子様、才原明男様、榊澤健治様、清水不二様(順不同)

★★★ 寄付及び会費専用口座 ★★★

■ゆうちょ銀行

記号 10010

番号 75286831

口座名 アンコールクライマーズネット

■三菱東京UFJ銀行

支店名：調布支店

預金種目：普通預金 口座番号：0081781

口座名：アンコールクライマーズネット

Webサイトでもご確認いただけます。

http://www.angkorclimbers.net/acn_donation.html

☆☆☆ アンコールクライマーズネット連絡先 ☆☆☆

■アンコールクライマーズネット（日本）

〒182-0025 東京都調布市多摩川5-3-1-506

tel. & fax +81-(0) 42-498-2488

■アンコールクライマーズネット（カンボジア）

Angkor Climbers Net (ACN)

tel. +855-(0) 92-336-924, +855-(0) 12-1759970

・郵便住所（この宛名に上記電話番号併記で局留になります）

POBOX 93044, Siem Reap city, Siem Reap province, CAMBODIA

・人工壁所在地（郵便物の宅配は、ありません）

Angkor Climbing Wall Krus village, Svidoncom commune

Siem Reap city, Siem Reap province, Cambodia

■ email info@angkorclimbers.net

カンボジアの宝、トンレサップ湖の野鳥



アンコール王朝の初代が即位したところとされる聖山クーレン山で、わがアンコールクライマーズネットの創設メンバーたちはクライミングをはじめました。地雷もまだ残っているというこの山でも観光開発は、進んでいます。→

↑ 2月からの乾季に現れるトンレサップ湖の野鳥営巣地は、アンコールワットに比肩するカンボジアの宝。上はペリカンが我々の小舟に気付いて飛び立つところ。2016年2月14日～24日の間に再訪計画あり。現地集合も可。興味のある方は伊藤まで。

クーレン山



Contents

01 ユースクライマー研修 2015

05 グローバルフェスタ
ロータスカップ

その他のイベント

07 From ACN's Desk 事務局から
アンコールカップ
ACNの会員制度
寄付・寄贈について

※写真、地図、イラストはすべて ACN
オリジナルコンテンツです

Editor's note

前号のこの欄を、カンボジアクライミング連盟創設に尽力されたオリンピック委員会事務局ヘントン氏の急逝に合掌して書き終えた Chu ですが、今度はその当人が2年間の肺がん闘病の後8月12日に他界いたしました。2月の緊急入院の後4つめの抗がん剤が効いて前号を発行し、カンボジアへも4月・7月と二度の渡航ができましたが、ついに力尽きました。これまで気を使ってお手伝いいただいた役員やボランティアの方々にお礼申し上げます。今号はそのPCに残された枠を使い、なるべく写真を多用してイベントをレポートしました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。合掌(Chimi)

©禁無断転載

アンコールクライマーズネットニュースレター

2015年10月号 NO. 17 2015年10月30日発行

非売品

発行人 伊藤明子

編集人 伊藤明子

発行 アンコールクライマーズネット (Angkor Climbers Net)

〒182-0025 東京都調布市多摩川5-3-1-506

tel 042-498-2488 fax 042-498-2488

www.angkorclimbers.net